

## 平成 26 年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果 ～香川県～

全国消費実態調査は、国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅、宅地などの家計資産を総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的として、昭和 34 年の第 1 回調査から 5 年ごとに実施している調査である。

平成 26 年調査は全国 1,720 市区町村の中から、約 56,400 世帯を対象として実施し、香川県では高松市など 8 市 4 町で 780 世帯が抽出され、9 月から 11 月の 3 か月間（単身世帯については 10 月及び 11 月の 2 か月間）行われた。

<所有数量（1000 世帯当たりの所有台数）>

### 1 所有数量の増加率が高いのは、IH キッキングヒーター、空気清浄機

- ・二人以上の世帯について、1000 世帯当たりの所有数量をみると、ルームエアコン（3,802 台）が最も多く、次いでたんす（3,307 台）、テレビ（2,456 台）となっている。（表 1）
- ・前回（平成 21 年）からの所有数量の変化をみると、IH キッキングヒーター（+41.9%）が最も増加し、次いで空気清浄機（+29.7%）となっている。一方、太陽熱温水器（-46.8%）が最も減少した。（表 2）
- ・所有数量が全国で 10 位以内の品目は、表 3 のとおりである。

表 1 主要耐久消費財の 1000 世帯当たり所有数量

（二人以上の世帯）

	品目	所有数量 (台)
所有数量が 多い 耐久消費財	ルームエアコン	3,802
	たんす（作り付けを除く）	3,307
	テレビ	2,456
	自動車	1,765
	ベッド・ソファ・ベッド（作り付けを除く）	1,707
	電気掃除機	1,552
	冷蔵庫	1,410

表 2 主要耐久消費財の 1000 世帯当たり所有数量の増減率

（二人以上の世帯）

	品目	所有数量（台）		増減数 (台)	増減率 (%)
		平成 21 年	平成 26 年		
所有数量の 増加率が高い 耐久消費財	IH キッキングヒーター※1	298	423	125	41.9
	空気清浄機	421	546	125	29.7
	ベッド・ソファ・ベッド（作り付けを除く）	1,433	1,707	274	19.1
	食器洗い機	332	389	57	17.2
	ビデオレコーダー（DVD、ブルーレイを含む）	1,137	1,272	135	11.9
所有数量の 減少率が高い 耐久消費財	太陽熱温水器※1	171	91	-80	-46.8
	携帯電話（PHS を含み、スマートフォンを除く）※2	2,082	1,352	-730	-35.1
	（参考）スマートフォン	—	998	—	—
	たんす（作り付けを除く）	4,943	3,307	-1,636	-33.1
	洗髪洗面化粧台※1	908	666	-242	-26.7
オートバイ・スクーター	251	203	-48	-19.1	

※1 平成 26 年は、平成元年以降に取得したもののみを調査し、「持ち家」の世帯のみで集計している。

※2 平成 21 年は、「携帯電話（PHS を含む）」として型式を問わず調査している。

表3 1000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量(全国で10位以内の品目)  
(二人以上の世帯)

品名	香川県の 順位	香川県 (台)	全国平均 (台)
ルームエアコン	2	3,802	2,723
携帯電話(PHSを含み、スマートフォンを除く)	3	1,352	1,207
ホームベーカリー	3	288	244
洗濯機	4	1,169	1,064
電子レンジ(電子オープンレンジを含む)	4	1,089	1,044
書斎・学習用机(ライティングデスクを含む)	5	1,155	1,036
冷蔵庫	6	1,410	1,218
食堂セット(食卓と椅子のセット)	6	900	824
IHクッキングヒーター	6	423	241
ピアノ・電子ピアノ	7	390	329
高効率給湯器	7	314	232
ベッド・ソファベッド(作り付けを除く)	8	1,707	1,482
電気掃除機	8	1,552	1,419
ビデオレコーダー(DVD、ブルーレイを含む)	8	1,272	1,185
太陽光発電システム	8	114	65
太陽熱温水器	8	91	34
家庭用エネルギー管理システム	8	17	12
鏡台(ドレッサー)	9	798	619
システムキッチン	9	592	549
食器洗い機	9	389	313
たんす(作り付けを含む)	10	3,307	2,803
電動アシスト自転車	10	88	99

<普及率(当該耐久消費財を所有している世帯の割合)>

2 普及率が高いのは、冷蔵庫、洗濯機、テレビ  
普及率の上昇幅が大きいのは、IHクッキングヒーター、ビデオレコーダー(DVD、ブルーレイを含む)

- ・二人以上の世帯について、普及率をみると、冷蔵庫(99.8%)が最も高く、次いで洗濯機(99.6%)、テレビ(99.0%)となっている。(表4)
- ・前回からの普及率の変化をみると、IHクッキングヒーター(+11.3ポイント)が最も上昇し、次いでビデオレコーダー(DVD、ブルーレイを含む)(+8.9ポイント)となっている。一方、スマートフォンが普及したこともあり、携帯電話(PHSを含み、スマートフォンを除く)(-14.3ポイント)が最も低下した。(表5)
- ・普及率が全国で10位以内の品目は、表6のとおりである。

表4 主要耐久消費財の普及率  
(二人以上の世帯)

	品目	普及率
普及率が高い 耐久消費財	冷蔵庫	99.8
	洗濯機	99.6
	テレビ	99.0
	電子レンジ(電子オープンレンジを含む)	98.8
	電気掃除機	98.7
	ルームエアコン	98.0
	自動車	94.9

表5 主要耐久消費財の普及率の上昇・低下幅

(二人以上の世帯)

	品目	普及率(%)		上昇・低下幅 (ポイント)
		平成21年	平成26年	
普及率の上昇幅が大きい 耐久消費財	IHクッキングヒーター※1	29.4	40.7	11.3
	ビデオレコーダー(DVD、ブルーレイを含む)	72.1	81.0	8.9
	ベッド・ソファベッド(作り付けを除く)	70.5	78.5	8.0
	自動炊飯器(遠赤釜・IH型)	84.7	90.5	5.8
	食器洗い機	32.9	38.0	5.1
普及率の低下幅が大きい 耐久消費財	携帯電話(PHSを含み、スマートフォンを除く)※2	93.0	78.7	-14.3
	(参考)スマートフォン	—	53.2	—
	洗髪洗面化粧台※1	75.3	64.1	-11.2
	鏡台(ドレッサー)	77.1	68.2	-8.9
	食器戸棚(作り付けを除く)	92.8	84.4	-8.4
	太陽熱温水器※1	16.6	9.3	-7.3

※1 平成26年は、平成元年以降に取得したもののみを調査している。

※2 平成21年は、「携帯電話(PHSを含む)」として型式を問わず調査している。

表6 主要耐久消費財の普及率(全国で10位以内の品目)

(二人以上の世帯)

品名	香川県の 順位	香川県 (%)	全国平均 (%)
冷蔵庫	1	99.8	98.9
洗濯機	1	99.6	98.8
携帯電話(PHSを含み、スマートフォンを除く)	1	78.7	72.4
ルームエアコン	2	98.0	90.0
電子レンジ(電子オーブンレンジを含む)	3	98.8	97.8
ベッド・ソファベッド(作り付けを除く)	4	78.5	71.9
ピアノ・電子ピアノ	4	37.5	30.9
たんす(作り付けを除く)	5	90.5	86.7
ホームベーカリー	5	27.8	24.1
太陽光発電システム	7	11.7	6.6
太陽熱温水器	7	9.3	3.4
電気掃除機	8	98.7	98.1
食堂セット(食卓と椅子のセット)	8	85.6	79.3
鏡台(ドレッサー)	8	68.2	55.5
書斎・学習用机(ライティングデスクを含む)	8	64.0	60.7
IHクッキングヒーター	8	40.7	23.9
高効率給水器	8	32.0	23.9
ビデオレコーダー(DVD、ブルーレイを含む)	10	81.0	79.2
システムキッチン	10	61.7	58.3
家庭用エネルギー管理システム	10	1.7	1.3

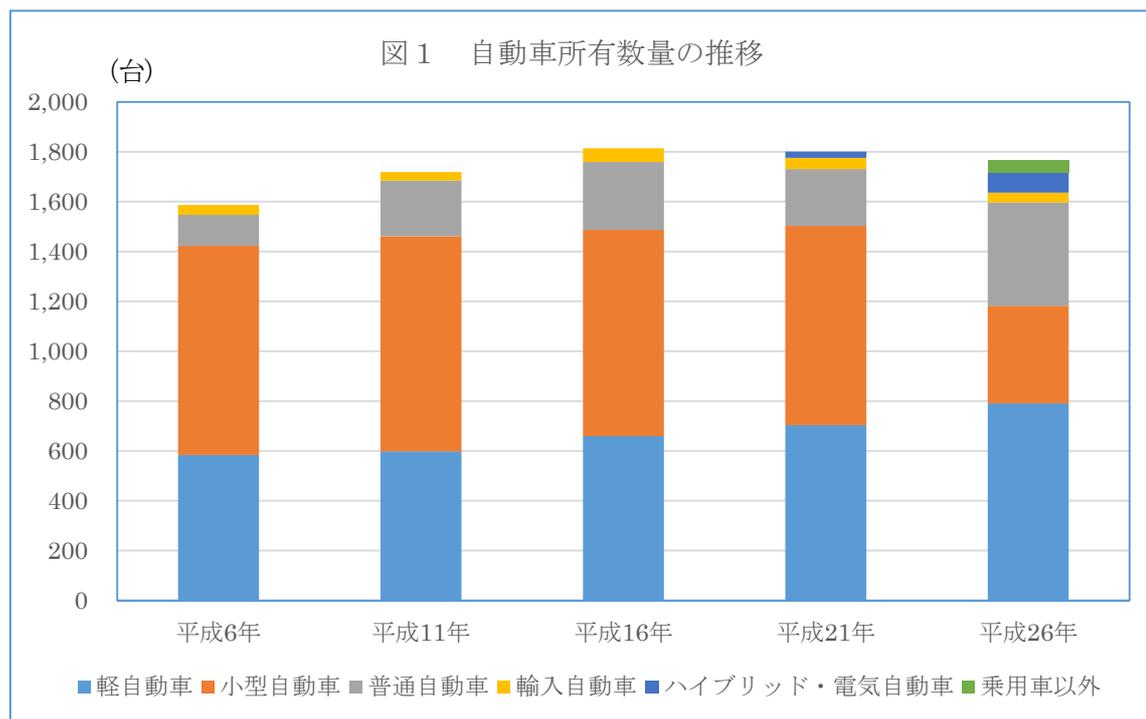
<品目別の主な状況>

3 環境に配慮した製品のうち所有台数及び普及率の全国順位が高いのは、太陽熱温水器、太陽光発電システム、高効率給湯器  
 全国順位が低いのは、ハイブリッド車

- ・二人以上の世帯について、環境に配慮した製品の所有台数及び普及率の全国順位をみると、太陽熱温水器（所有台数8位、普及率7位）、太陽光発電システム（所有台数8位、普及率7位）、高効率給湯器（所有台数7位、普及率8位）となっている。（表3）（表6）
- ・自動車においては、電気自動車が1000世帯当たりの所有台数3台（全国順位11位）、普及率0.3%（全国順位9位）となっている。一方ハイブリッド車は1000世帯当たりの所有台数78台（全国順位42位）、普及率7.5%（全国順位42位）となっている。

4 自動車の所有数量は、前回に引き続き減少  
 内訳をみると、軽自動車、普通自動車が増加し、小型自動車が減少

- ・自動車の1000世帯当たりの所有数量をみると、前回の1,801台から1,765台となり、2.0%減少した。
- ・内訳をみると、軽自動車、普通自動車、ハイブリッド・電気自動車が増加した。（図1）
- ・自動車の普及率は94.9%である。



注1 軽自動車は、平成6年から21年が「660CC以下の自動車」、平成26年が「ナンバープレートが黄色の自動車」。小型自動車は、平成6年から21年が「661～2000CCの自動車」、平成26年が「ナンバープレートが白色で、分類番号の左から一桁目が5又は7の自動車」。